

2018年度 公益社団法人 鎌倉青年会議所 委員会活動方針・事業計画

- 委員会名：総務渉外委員会
- 担当専務理事名：今村 広太郎 (確認日2017年10月26日)
- 委員長名：波多江 悠 (作成日2017年10月26日)
- 副委員長名：村山 大輔
- 委員名：磯野 享史、魚住 智哉、岡田 卓、柿崎 孝宏、坂本 創志、脇本 遼
- 作成者名：波多江 悠

1. 委員会活動方針

生活環境や仕事を異にする個人の集団である鎌倉青年会議所がまちの未来を想う運動を力強く推進していくためには、当会議所の目的をより強く共有し、会員間の結束をより強固に維持することが求められます。そのためには、当会議所の方向性を力強く共有し繋いでいく機会を創出するとともに、会員同士がそれぞれの観点から議論を重ねて目的に沿った事業を展開できるように下支えする強固な組織運営が必要であると考えます。本年度総務渉外委員会では、会員の結束をより強固にする基盤の構築を通じて規範意識を育み、明るい豊かな社会の実現に向けて活動する当会議所の根幹を支える事業を展開してまいります。

そこで当委員会ではまず、会議運営、財務運営をはじめとする組織運営を適切に取り仕切ります。重要な意思決定機関である総会及び理事会に会員の積極的な参加を促し、会議運営手法の浸透を推進して円滑な会議運営を行ってまいります。また、公益法人としての財務運営を規律に則り適正に管理することで、組織の土台といたします。そして、伝統ある当会議所の組織運営手法を継承するとともに、会員との対話の中で現代にあった手法の取り入れを検討し、会員が積極的に参加できる公平な組織の運営を目指します。次に、当会議所の方向性を強く共有できる適切な機会をとらえて、当会議所の歴史と伝統を形作っていただいた先輩諸氏、関係諸団体の皆さまとの交流の場を設けます。その関りの中から会員が地域社会の中で果たすべき役割について学び、当会議所の方向性を強く共有し繋いでいける事業を展開してまいります。また、同じ目的の下で活動する日本青年会議所本会、関東地区協議会、神奈川ブロック協議会の事業への積極的な参加を促すと共に、出向する会員が修練の場において研鑽を積めるように支援することで、会員の結束に繋げてまいります。

会員が互いに団結し当会議所の目的を強く共有することが、まちの未来を想う当会議所の運動を力強いものとしていきます。そして、力強い運動の中で得られる連帯感と達成感が、当会議所の一員であるという会員の誇りとより強い団結に繋がっていくと信じます。そして、仲間を想いながら、まちの未来を想う活動を継続することが、社会と人とが繋がり皆で支え合う成熟した地域社会の実現に繋がっていくと確信いたします。

2. 委員会事業計画

(I) 会議の開催及び青年会議所運営全般

- (a) 内 容：総会並びに理事会の開催、青年会議所の運営
- (b) 時 期：2018年 1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(II) 交流会の開催

- (a) 内 容：新年式典・賀詞交歓会、次年度理事長を祝う会、卒業生を送る会の開催
- (b) 時 期：2018年1月、7月、12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB、関係諸団体
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(III) 渉外に関する事業

- (a) 内 容：神奈川ブロック大会大和大会への参加
- (b) 時 期：2018年 9月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(IV) 渉外に関する事業

- (a) 内 容：公益社団法人日本青年会議所本会、関東地区協議会並びに神奈川ブロック協議会の事業への参加、出向者支援
- (b) 時 期：2018年 1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大の実施
- (b) 渉外事業への参画、参加